

【リスク評価済物質のうち経皮吸収勧告があるものの一覧】

通し	物質名	報告* 事業場数	リスク評価の実施状況		リスク評価 後の措置	色塗りは経気道リスク低い物質。(リスク 高だが作業工程共通でない物質を含む。)		
			ばく露調査	リスク評価結果				
平成18年ばく露作業報告(平成18年4月～8月報告対象物質)5物質(H18.2告示)								
1	1 エピクロロヒドリン	117	H18年度	リスク低い	—			
平成19年ばく露作業報告(平成19年4月～6月報告対象物質)10物質(H19.11告示)								
8	3 オルトートルイジン	19	H19年度	リスク低い	—	H28再評価	膀胱がん事案	特化則 (特定第2類)
10	5 1,2,3-トリクロロプロパン	5	H19年度	リスク低い	—			
通し	物質名	報告* 事業場数	初期リスク評価の実施状況		初期評価 後の措置	詳細リスク評価の実施状況		詳細評価 後の措置
			ばく露調査	リスク評価結果		ばく露評価	リスク評価結果	
平成20年ばく露作業報告(平成20年1月～3月報告対象物質)44物質(H19.3告示)								
19	4 2,3-エポキシプロピル=フェニ ルエーテル	16	H20年度	リスク高くない	—	—	—	—
20	5 オルト-アニシジン	2	H20年度	リスク低い	—	—	—	—
22	7 オルト-ニトロトルエン	2	H20年度	リスク低い	—	—	—	—
23	8 2-クロロ-1,3-ブタジエン	4	H20年度	リスク高い	詳細評価へ	H21年度	リスク高いが 作業工程共通でない	—
34	19 2,4-ジニトロトルエン	8	H20年度	リスク高い	詳細評価へ	H21年度	リスク高いが 作業工程共通でない	—
35	20 1,2-ジプロモエタン(別名 EDB)	1	H21年度	リスク高い	詳細評価へ	H22年度	リスク高いが 作業工程共通でない	—
39	24 ジメチルヒドラジン	3	H20年度	リスク高い	詳細評価へ	H21年度	リスク高い	特化則 (特定第2類に 指定)
45	30 ヒドラジン	179	H20年度	リスク高くない	—	—	—	—
46	31 フェニルヒドラジン	3	H24年度 (22-23測定法後継)	リスク高くない	—	—	—	—
47	32 1,3-プロパンスルトン	2	H20年度	リスク高い(経皮)	詳細評価へ	H21年度	リスク高い	特化則
56	41 4,4'-メチレンジアニリン	29	H20年度	リスク高くない	—	—	—	—
平成21年ばく露作業報告(平成21年1月～3月報告対象物質)20物質(H20.11告示)								
65	6 カテコール	26	H22年度	リスク低い	—	—	—	—
66	7 キシリジン	9	H23年度	リスク低い	—	—	—	—
70	11 1,3-ジクロロプロペン	39	H22年度	リスク高い	詳細評価へ	H23年度	リスク高いが 作業工程共通でない	—
71	12 ジメチル-2,2-ジクロロビニル ホスフェイト(別名DDVP)	14	H22年度	リスク高い	詳細評価へ	H24年度	リスク高い	特化則 (特定第2類)
73	14 ナフタレン	145	H24年度	リスク高い	詳細評価へ	H25年度	リスク高い	特化則 (特定第2類)
74	15 ニトロベンゼン	16	H23年度	リスク低い	—	—	—	—
平成23年ばく露作業報告(平成23年1月～3月報告対象物質)43物質(新規22、再21)(H21.12告示)								
95	16 N,N-ジメチルアセトアミド	139	H24年度	リスク低い	—	—	—	—
116	37 メタクリロニトリル	14	H25年度	リスク低い	—	—	—	—